

先進事例検索システム

事例No.	1081
公表年度	R2
団体の属性	市区
団体名	茨城県笠間市

事例区分 (大)	行政改革
-------------	------

事例区分 (小)	ICTによる効率化
-------------	-----------

事例種類	ICTによる効率化
------	-----------

事例内容・タイトル

ペーパーレス化の一体的推進

出典

地方公共団体における行政改革の取組 (令和3年3月31日公表)

★ペーパーレス化の一体的推進〈茨城県笠間市(人口約7.3万人)〉

- 文書の決裁等について、財務帳票等を含め原則すべて電子決裁により処理している。
- 議会や庁内の会議において、タブレット端末によるペーパーレス会議を実施している。
- 以上により、庁内のペーパーレス化を一体的に推進している。

＜笠間市DXの実現に向けて＞

課 題

紙を前提とした事務処理により、以下のような課題が存在

- ①**大量の紙文書の存在** ⇒ 執務スペースの圧迫、文書の所在把握の困難さ、情報セキュリティの観点からの懸念
- ②**業務の非効率性** ⇒ テレワークなどの多様の働き方への対応が困難、決裁のための移動時間

取 組

○文書の起案・供覧・決裁業務のデジタル化（R2～）※**ほぼ100%実施**

- ・R2年度の電子決裁件数：約6.5万件
- ・決裁区分や文書の種類による電子決裁の例外扱いはなし
- ・受領した紙文書は電子化した後に廃棄する運用とし、ペーパーレスを推進

○財務帳票等の起票・決裁業務のデジタル化（H25～）※**ほぼ100%実施**

- ・R2年度の電子決裁件数：約9万件

○課長級以上の職員にタブレットを配布し、ペーパーレス会議を実施（H29～）

- ・R2年度に実施したペーパーレス会議件数：約130件

成 果

- 紙の削減枚数：年約181万枚（削減額：年約550万円）
- 決裁のための移動時間の削減（出先部署⇔本所）（削減時間：年約630時間）
- 円滑なテレワークの実現（職場外で起案や決裁が可能。R2年度は90人が実施）
- システムによる情報の集中管理・適正管理の実現



ペーパーレス会議



ホテルでのテレワーク